

第2次総合計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

基本方針(政策)	4	生涯現役で活躍する健康長寿社会を形成します
計画項目(施策)	10	大長寿を享受できる健康づくりの推進
＜施策分野＞		＜健康＞

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	岸本 繁之

1. 総合計画で掲げている目的など PLAN

施策の目的	市民が生涯にわたり、百歳になっても健康で元氣な生活を送れるよう「健康大長寿」をめざした取り組みを推進します。 また、「自殺者ゼロ」をめざし、一人ひとりの命を大切に、誰一人として置き去りにしないまちづくりを進めます。
施策方針(めざす姿)	健康づくり意識の向上と一次予防の充実により、市民一人ひとりが望ましい生活習慣の実践と健康づくり活動に取り組むことにより、生涯にわたり現役生活を実践し、健康長寿を享受できるまちづくりをめざします。 また、社会全体で支えるこころの健康づくりを推進し、自殺者ゼロをめざします。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市健康増進計画	市民・関係団体・行政が一体となって、健康づくりに取り組むため策定 ※ 計画の中間年にあたる平成23 年度に、目標の達成状況の中間評価と見直しを実施。	平成19年3月	平成19年度～平成28年度	平成24年3月(中間評価・見直し)
京丹後市食育推進基本方針	本市の食育の方向性や取組を体系化した、より総合的な食育の推進を図るため、策定。	平成26年3月	平成26年度～平成28年度	
京丹後市自殺のないまちづくり行動計画	自殺対策における現状と課題を明らかにするとともに、自殺対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的方向を定め、『誰一人置き去りにしない、いのちが一番大切にされる、生き心地の良い「いのちを護まもる」まちづくり』を実現し、自殺ゼロを目指した取組を強力に進めるため、自殺対策基本法第4条に基づき策定。	平成26年3月	平成26年度～平成30年度	

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取組 ↓			予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果	
			H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施策 貢献度	今後の 方向性	
事務事業名称・事業内容(実績)			担当課								
① 健康づくり意識の向上											
○ 市全体で健康づくりを推進する機運の醸成に努めます。											
○ 各種健診、教室、相談等の機会を利用し、生活習慣病予防を啓発します。											
○ 健康づくりを推進するリーダー等の育成と活動支援に努めます。											
○ 京都府、企業、医療機関、教育、国民健康保険等との連携した健康づくり体制を構築します。											
○ 家庭や地域における食育の推進に努めます。											
1	地域健康づくり推進事業	健康推進課	281	242 (153)	国規定	単費	○	サービス	A	現状維持	
食生活改善推進員による市民の健康づくりを推進(研修会延7回、地域伝達講習会15回)、養成講座											
2	食育推進事業	健康推進課	1,228	691 (347)	国規定	府・一部	-	サービス	A	現状維持	
食育基本方針に基づき、食育を推進するための啓発活動や関係機関等とのネットワークを設置											
3	健康楽歩里ポイント事業	健康推進課	795	708 (708)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持	
ウォーキングや健康目標の達成等に対しポイントを付与し、ポイントカードに記録(カード提出者250人)											
4	健康づくり推進員活動事業	健康推進課	1,104	1,342 (143)	市規定	府・一部	-	サービス	A	現状維持	
健康づくり推進員の育成研修会の開催、京丹後ジョ健康ウォーキングの実施、サザエさん体操の普及											
5	在宅健康管理システム事業	健康推進課	2,894	2,854 (2,854)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持	
携帯端末機器と自動血圧計を活用して、在宅の市民に保健師が健康指導を実施(利用者数:延142人)											
6	健康増進計画・食育推進計画策定事業	健康推進課	-	1,181 (1,181)	新規事業						
健康増進計画・食育推進計画の策定に向けた市民アンケート調査の実施経費											
7	健康管理支援事業【再編交付金活用事業】	健康推進課	-	1,000 (100)	新規事業						
超音波骨密度測定装置(1台)の購入経費											
② 保健事業の充実											
○ 市民一人ひとりが、主体的に生活習慣の改善や病気の早期発見・早期治療ができるよう、健康診査の受診を促進します。											
○ 市民それぞれの日常生活に合った健康づくりを実践できるよう、健康教室・相談や保健指導等の場で生活改善指導を行います。											
8	保健センター管理運営事業	健康推進課	1,224	919 (919)	市規定	単費	○	維持管理	A	現状維持	
保健センター(大宮、網野町)の維持管理経費											
9	施設管理費【再掲】【施策11【医療・保険】にも該当】	健康推進課	2,563	- -	市規定	単費	○	維持管理	B	終了・廃止	
総合保健施設「弥栄保健福祉センター(ふれあい)」の維持管理経費											
10	保健衛生総務一般経費	健康推進課	7,108	2,707 (2,654)	なし	国・一部	含む	内部管理	A	現状維持	
各種保健事業を円滑に実施するために必要な経費(臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金)											
11	健康相談・指導事業	健康推進課	1,893	2,163 (1,688)	国規定	府・一部	-	サービス	A	現状維持	
総合健診結果報告会を開催(延50会場、3,536人参加)し、健康相談・保健指導・栄養指導を実施											

③	12	総合検診事業 健康診査と各種がん検診などを同時に受ける総合検診を実施(49日間・27会場)	健康推進課	93,211	105,621 (79,261)	国規定	国・一部	-	サービ	A	現状維持
	13	機能訓練事業 疾病等による心身機能低下者に対し、機能回復、介護予防に必要な訓練、知識の提供(6回)	健康推進課	63	104 (104)	国規定	単費	○	サービ	B	現状維持
	14	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業【再編交付金活用事業】	健康推進課	16,381	-	国規定	国・一部	-	サービ	A	現状維持
		高齢者に対して肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施(接種者数2,283人、接種率51.6%)			-						
③ 自殺予防対策の充実 ○ こころの健康を維持するための相談体制の充実や専門機関との連携を強化します。 ○ 自殺未遂者及び自死遺族の支援を進めます。											
	15	自殺予防対策事業 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会との連携の下、自殺予防対策を実施(無料相談電話、自殺予防街頭啓発等)	健康推進課	2,224	3,204 (964)	国規定	国府一部	-	サービ	A	現状維持
			計	128,406	122,736 (91,076)						

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 自ら健康管理を行い、健康な生活習慣を実践します。 ② 家族ぐるみ、地域ぐるみで健康づくりを積極的に推進します。
--------	--

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
京丹後市健康増進計画								
小学校児童の肥満児の割合【重点項目】	男子	%	3.4	H17	4.6	H22	3.4%以下	H28
	女子	%	7.3	H17	3.2	H22	3.2%以下	H28
20歳代女性のやせの割合【重点項目】		%	20.3	H17	12.5	H22	12.5%以下	H28
肥満の割合【重点項目】	20～60歳代男性	%	21.5	H17	19.4	H22	15.0%以下	H28
	40～60歳代女性	%	17.9	H17	9.7	H22	9.7%以下	H28
自分の適性体重を認識し、体重コントロールを実践する人の割合	20歳以上男性	%	48.9	H17	56.9	H22	90.0%以上	H28
	20歳以上女性	%	44.6	H17	55.9	H22	90.0%以上	H28
自分の適性体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合	成人男性	%	24.4	H17	23.7	H22	60.0%以上	H28
	成人女性	%	32.1	H17	30.5	H22	70.0%以上	H28
脂肪エネルギー比率	20～40歳代	%	—	H17	—	H22	20.0～25.0%以上	H28
食塩摂取量		g	—	H17	—	H22	10g未満	H28
魚介類を週3回以上摂取する人の割合	成人	%	39.0	H17	38.4	H22	39.0%以上	H28
野菜を毎食摂取する人の割合【重点項目】		%	23.8	H17	24.6	H22	23.8%以上	H28
朝食を欠食する人の割合	中学生	%	4.7	H17	0.8	H22	0.0	H28
	20歳代男性	%	18.9	H17	24.2	H22	18.9%以下	H28
	30歳代男性	%	22.9	H17	10.6	H22	10.6%以下	H28
外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の割合	成人	%	48.1	H17	49.9	H22	49.9%以上	H28
自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の割合	成人男性	%	63.2	H17	61.3	H22	80.0%以上	H28
	成人女性	%	72.0	H17	72.4	H22	80.0%以上	H28
むし歯のない幼児の割合	3歳【重点項目】	%	60.2	H17	78.9	H26	71.9%以上	H28
	1歳半	%	94.5	H17	97.9	H26	100.0	H28
間食時間を決めている幼児の割合	3歳	%	69.8	H17	61.9	H26	69.8%以上	H28
1人平均むし歯数	12歳	本	1.75	H17	1.22	H25	1本以下	H28
20本以上の自分の歯を有する人の割合	80歳(75～84歳)	%	25.1	H17	34.2	H22	34.2%以上	H28
24本以上の自分の歯を有する人の割合	60歳(55～64歳)	%	49.4	H17	52.3	H22	52.3%以上	H28
歯間部清掃用器具の使用者の割合	40歳(35～44歳)	%	24.2	H17	34.3	H22	50.0%以上	H28
	50歳(45～54歳)	%	20.5	H17	41	H22	50.0%以上	H28
過去1年間に定期的な歯科検診を受けた人の割合【重点項目】	60歳(55～64歳)	%	8.7	H17	14.7	H22	30.0%以上	H28
意識的に運動を心がけている人の割合	男性	%	63.6	H17	69.8	H22	70.0%以上	H28
	女性	%	66.8	H17	71.8	H22	71.8%以上	H28
日常生活における歩数	男性	歩	5,986	H17	5,759歩	H22	9,000歩以上	H28
	女性	歩	5,362	H17	5,781歩	H22	8,400歩以上	H28
	男性(70歳以上)	歩	5,479	H17	5,447歩	H22	6,800歩以上	H28
	女性(70歳以上)	歩	4,143	H17	4,921歩	H22	5,500歩以上	H28
運動習慣者の割合【重点項目】	男性	%	27.6	H17	31.5	H22	50.0%以上	H28
	女性	%	27.9	H17	30.5	H22	50.0%以上	H28
何らかの地域活動を実施している人の割合	男性(60歳以上)	%	28.5	H17	30.8	H22	50.0%以上	H28
	女性(60歳以上)	%	25.7	H17	37.3	H22	50.0%以上	H28

	ストレス(不満や悩み、苦労など)を感じた人の割合		%	61.7	H17	64.8	H22	61.7%以下	H28
	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合		%	39.9	H17	43.8	H22	10.0%以下	H28
	寝るために飲酒をする人の割合		%	9.2	H17	9.8	H22	9.2%以下	H28
	自殺者数		人	15	H16	13	H26	0	H28
	自殺ゼロ対策やうつ予防を推進していることを認知している人の割合【重点項目】	知っている、聞いたことがある人の割合	%	44.0	H23	44.0	H22	44.0%以上	H28
		未成年者	%	—	H17	—	H22	0.0	H28
	喫煙している人の割合【重点項目】	全体	%	20.5	H17	13.5	H22	13.5%以下	H28
		男性	%	38.1	H17	26.8	H22	26.8%以下	H28
		女性	%	6.3	H17	2.8	H22	2.8%以下	H28
	喫煙が及ぼす健康影響を知っている人の割合	肺がん	%	79.2	H17	87.2	H22	100.0	H28
		喘息	%	39.5	H17	47.0	H22	100.0	H28
		気管支炎	%	51.7	H17	61.0	H22	100.0	H28
		心臓病	%	39.4	H17	42.9	H22	100.0	H28
		脳卒中	%	37.2	H17	42.9	H22	100.0	H28
		胃潰瘍	%	20.4	H17	22.0	H22	100.0	H28
		妊娠に関連した異常	%	57.1	H17	63.2	H22	100.0	H28
		歯周病	%	18.3	H17	22.6	H22	100.0	H28
	分煙を実施している割合	公共の場	%	—	H17	100	H22	100.0	H28
		職場	%	—	H17	100	H22	100.0	H28
	未成年者の飲酒割合		%	—	H17	—	H22	0.0	H28
	多量(3合以上)に飲酒する人の割合	男性	%	7.7	H17	6.8	H22	3.4%以下	H28
		女性	%	0.5	H17	0.7	H22	0.2%以下	H28
	「節度ある適度な飲酒」について知っている人の割合【重点項目】	男性	%	59.3	H17	55.5	H22	100.0	H28
		女性	%	44.7	H17	36.7	H22	100.0	H28
	健康診査の受診率	健康診査(20～39歳)	%	35.4	H17	48.3	H26	100.0	H28
		特定健康診査(40～74歳)、健康診査(75歳以上)	%	38.8	H17	34.1	H26	100.0	H28
	高血糖者の割合		%	32.7	H17	49.4	H26	27.9%以下	H28
	血圧高値異常者の割合	健康診査・特定健康診査受診者の中の要指導・要医療者割合	%	61.2	H17	27.0	H26	43.4%以下	H28
	脂質異常者の割合		%	47.5	H17	59.2	H26	44.9%以下	H28
	肥満者の割合		%	18.7	H17	19.0	H26	19.0%以下	H28
	うす味を心がける人の割合【重点項目】		%	48.8	H23	48.8	H22	48.8%以上	H28
	油をとり過ぎないように心がけている人の割合【重点項目】		%	55.7	H22	55.7	H22	55.7%以上	H28
	胃がん検診の受診率【重点項目】		%	13.3	H17	23.5	H26	100.0	H28
	肺がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	%	22.5	H17	42.6	H26	100.0	H28
	乳がん検診の受診率【重点項目】		%	16.7	H17	48.2	H26	100.0	H28
	子宮がん検診の受診率【重点項目】	20歳以上	%	26.6	H17	44.7	H26	100.0	H28
	大腸がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	%	17.7	H17	41.3	H26	100.0	H28
	肝炎ウィルス検査の受診率【重点項目】		%	3.5	H22	2.9	H26	100.0	H28
	壮年期のがん死亡率(人口10万対)【重点項目】	30～64歳	人	56.9	H22	64.8	H25	56.9人以下	H28
	メタボリックシンドロームを認知している人の割合【重点項目】		%	68.8	H22	68.8	H22	80%以上	H28
	メタボリックシンドローム該当者と予備軍の割合【重点項目】		%	21.2	H22	23.5	H22	15.9	H28
	特定保健指導実施率【重点項目】	法定報告分	%	13.0	H22	13.0	H22	60	H28
京丹後市自殺のないまちづくり行動計画									
	自殺者数	H30年度までに自殺者数ゼロを実現	%	19	H22	13	H26	0	H30

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針 (めざす姿)	健康づくり意識の向上と一次予防の充実により、市民一人ひとりが望ましい生活習慣の実践と健康づくり活動に取り組むことにより、生涯にわたって現役生活を実践し、健康長寿を享受できるまちづくりをめざします。 また、社会全体で支えるこころの健康づくりを推進し、自殺者ゼロをめざします。							
めざす 目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	肥満者の割合	%	17.1	H22	17.1	H22	15	H36
	一日の歩数(男性)	歩	5,759	H22	5,759	H22	9,000	H36
	一日の歩数(女性)	歩	5,781	H22	5,781	H22	8,400	H36
	女性特有のがん検診受診率(乳がん)	%	47.3	H25	48.2%	H26	50	H36
	女性特有のがん検診受診率(子宮がん)	%	43.5	H25	44.7%	H26	50	H36
	自殺者数	人	14	H25	13	H26	0	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○市内16団体が構成する食育推進ネットワーク会議や市内食育推進会議の開催など、関係者が連携して食育を推進する体制を構築することができた。 ○個別通知や健康づくり推進員による声掛けなどによる受診勧奨に取り組みだ結果、総合検診における女性特有のがん検診の受診率が向上した(乳がん検診:48.2%[1%増加]、子宮がん検診:44.7%[1.2%増加])。 ○総合検診の結果報告会について、平成26年度から個別指導を中心とした方法に変更した結果、個別指導を受けた人が前年度比で1,070人(約20%)増加した。結果報告会で3,536人に健康的な生活習慣の実践に向けて個別に応じた保健指導等を行い、生活改善を行う意識向上につなげることができた。 ○健康づくり推進員による市民への健康づくりの普及啓発(地区でのウォーキング教室の実施、サザエさん体操の普及、検診受診の声掛け等)や在宅健康管理システム事業による血圧管理の実践に加え、平成26年度から健康楽歩里ポイント事業を導入し、453人が健康づくりへのチャレンジする等、市民自らが健康づくりに積極的に取り組むよう支援することで、健康増進を図ることができた。 ○自殺対策について、自殺者ゼロを目指し、自殺のないまちづくり行動計画に基づいた取組(普及啓発事業、ゲートキーパー養成研修、寄り添い支援総合サポートセンターによる相談受付・支援等)を行い、自殺者はピーク時の半数以下となった。市民みんなでゲートキーパー研修について、目標である1,000人の養成を行い、地域での自殺予防に関心を持ち取り組む市民を増やすことができた。	○食育推進ネットワーク会議の開催や食育啓発イベントの実施などにより、関係課及び関係団体との連携を充実し、総合的な食育の推進を図る必要がある。 ○胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺、肝炎ウイルス、腹部超音波の検診受診率が減少していることから、受診率の向上を図っていく必要がある。 ○検診結果から見ると、高血糖や高血圧の有所見(検査値の異常)が多く、一次予防のほか、重症化予防の取組にも注力が必要である。 ○がん検診後の精密検査受診率が全国平均と比べて低いことから、受診率の改善が必要である。 ○地区によって健康づくり推進員及び食生活改善推進員の活動に差があるため、両推進員の認知度を高めるとともに、活動を促進できるよう、活動につながる具体的な研修や支援が必要である。 ○自殺対策については、普及啓発、相談支援体制の構築、うつ病予防、ゲートキーパーなどの人材育成など各種の対策を充実してきたが、自殺未遂者支援・自死遺族支援については、取組を開始したところである。自殺者の40%に過去の自殺未遂歴があるといわれていることから、今後は関係機関とより連携を密にして自殺未遂者支援・自死遺族支援を推進することが必要である。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理 由
◎ 予定以上に進んでいる	○	めざす目標値の実績値が向上しており、個別計画に掲げる実績値についてもおおむね向上している。 また、健康づくり推進員や食生活改善推進員などの健康づくりのリーダーによる普及啓発の充実や健康楽歩里ポイント事業や在宅健康管理システムを活用した市民の主体的な健康管理意識の向上の取組など、各種健康づくりの取組についても、一定の成果を挙げていることから、「予定どおり進んでいる」と評価する。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	総合検診の受診率の向上を図る(保健指導や広報を通じた周知の徹底、節目年齢者や未受診者に対する個別通知の検討)。	
	2	平成27年度から、実施予定の医療機関と連携した生活習慣病重症化予防事業を推進し、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病の予防に力を入れる。	平成26年度から開催している医療機関との「健康づくり事業についての意見交換会」を継続し連携しながら事業を推進する。
	3	自殺のないまちづくり行動計画に基づき、自殺未遂者支援、自死遺族者支援等について、警察・病院・消防・保健所と連携協定を締結し、体制の充実を図ることで自殺を予防する。	
	4	地域での普及活動に効果的につなげていくため、健康づくり推進員に対しては、検診受診率向上・歩く健康づくり・体操の普及について、食生活改善推進員に対しては食育の観点から生活習慣病予防について、重点的に育成支援を行う。	
	5	健康増進計画・食育推進計画(平成28年度策定予定)に基づき、関係課や関係団体で構成する食育ネットワークにおいて情報交換や連携を図り、総合的な食育を推進する。	
歳出抑制(歳入確保)の考え方	1	機器の耐用年数を迎える在宅健康管理システム事業の今後の在り方について検討する。	血圧管理や合併症予防の必要な方を対象に、重症化予防事業や特定保健指導等を行い、代替事業とする。

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業	
細事業名	01 地域健康づくり推進事業			決算書	P.180
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
281千円		301千円	20千円	93.3 %	301千円
目的	健康づくりに対する意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から食生活改善のための地域活動を推進する。				
主要な 事業及び 成果の 概要	健康づくりに欠かせない食生活の視点から、健康づくりを推進するため、食生活改善推進員を対象に管理栄養士による研修を実施した。研修を基に、食改員が地域住民に対し、生活習慣病予防などの伝達講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。				
	【事業実施状況】				
	◎地域活動を進めるための研修会 53千円				
	◎各支部の研修会 講師：健康推進課管理栄養士 6支部×1回開催（参加人数：96人） 「長寿食レシピ集について」 講話と調理実習 事業費：需用費（52千円）、会場借上料（1千円）				
	◎地域伝達講習会 120千円				
主 な 財 源	◎食生活改善推進員養成講座 108千円				
	地域における食生活改善を中心に活動を積極的に推進する食生活改善推進員を養成。 6講座・10人修了 事業費：講師謝金（40千円）、需用費（35千円）、印刷製本費（28千円） 役務費（5千円）				
	〈会員数〉 ※H27.3月末現在				
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町
	27人	27人	26人	39人	26人
評 価 ・ 課 題 等	府補 消費・安全対策交付金（1/2） 119千円				
	○食生活改善推進員を対象とした研修会や食改員養成講座を実施することにより、食に関する豊かな知識を得ていただくとともに、地域における普及活動を支援できた。				
	○壮年期及び高齢期だけでなく、子育て世代も対象に地域伝達講習会を実施し、市民の健康づくりを支援することができた。				
	○今後も市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいけるよう、正しい知識を普及啓発していく必要がある。				
	事業所管課 健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業	
細事業名	02 食育推進事業			決算書	P.180
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,228千円		1,234千円	6千円	99.5 %	763千円
目的	市民への食育の認識高揚のための啓発活動や関係機関・団体等との連携を行い、「京丹後市食育推進基本方針」に基づき食育を推進する。				
主要な 事業及び 成果の 概要	市民を対象にした食育イベントやCATVを活用した食育普及のための料理番組を放映したほか、食生活改善推進員による地域での食育伝達講習を実施した。さらに、小中学生を対象とした普及啓発及び高校生の料理教室を行った。 また、関係機関や団体等との連携のための食育推進ネットワーク会議を開催した。				
	○食育イベント1回（消耗品費・印刷製本費） 131千円				
	京丹後市商工祭における展示及び体験コーナー 参加人数：108人				
	○食生活改善推進員による食育伝達講習（謝金） 138千円				
	23回開催、参加人数：延べ326人				
主 な 財 源	○長寿食レシピを活用したCATV料理番組の放映（13番組制作） 109千円				
	食生活改善推進員謝金（78千円） 消耗品費（31千円）				
	○食育啓発用ランチョンマット、のぼりの配布 290千円				
	ランチョンマット：市内小学生に配布、のぼり：市内小中学校へ配布				
	○長寿食レシピを活用した食育レシピの配布（2種類） 70千円				
評 価 ・ 課 題 等	食生活改善推進員による一般、中学生対象料理教室、食育伝達講習時配布				
	○高校生料理教室（1回） 12千円				
	○「京丹後百寿人生のレシピ」4,000部増刷 471千円				
	○食育推進ネットワーク（1回）（消耗品費、通信運搬費） 7千円				
	ネットワーク委員：16団体17人（保健、農林水産、商工観光、教育等関連団体で構成）				
事 業 所 管 課	府補 消費・安全対策交付金（1/2） 364千円				
	○「食育」の周知、啓発について、各種媒体を通じて情報発信することができ、食育について理解を深めてもらうことができた。				
	○食育推進ネットワークによる関係機関・団体等との情報の共有を啓発活動に活かすことができたが、さらに連携した取り組みを推進する必要がある。				
	事業所管課 健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業						
細事業名	05 健康楽歩里 [♠] イト事業			決算書 P.182						
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進						
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額						
795千円		949千円	154千円	83.7 % 116千円						
目的	ウォーキングや健康的な生活習慣の動機づけと定着のための支援として、健康ポイント事業を実施し、市民の健康意識の向上、健康的な市民の増加をめざす。									
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	市民がウォーキングや自ら立てた健康目標を達成すること又は保健事業に参加することに対して、ポイントを付与し、配布したポイントカードに記録する。 ポイント活用方法 ①健康関連グッズが当たる抽選に活用 ②ウォーキングコースの環境整備に活用 〔ポイントカードの作成部数：2,000部 ポイントカード配布数：1,400部〕 〔申請者数：453人 ポイントカード提出者数：250人〕									
	<table><tr><td>4月 先進地視察</td><td>7月 オープニング講演会の開催</td></tr><tr><td>9月 イメージキャラクターの決定</td><td>8月～11月 健康づくりのチャレンジ期間</td></tr><tr><td>1月 健康関連グッズ抽選</td><td>2月 ウォーキングコースの環境整備</td></tr></table>				4月 先進地視察	7月 オープニング講演会の開催	9月 イメージキャラクターの決定	8月～11月 健康づくりのチャレンジ期間	1月 健康関連グッズ抽選	2月 ウォーキングコースの環境整備
	4月 先進地視察	7月 オープニング講演会の開催								
	9月 イメージキャラクターの決定	8月～11月 健康づくりのチャレンジ期間								
1月 健康関連グッズ抽選	2月 ウォーキングコースの環境整備									
○報償費 147千円 ・オープニング講演会講師謝金 60千円 ・抽選景品（100人分） 82千円 ・公募デザイン入選作品賞品 5千円 ○旅費（視察旅費：静岡県藤枝市・袋井市） 40千円 ○需用費 520千円 ・ウォーキングコースの整備（花の苗・プランターなど） 61千円 ※30,548ポイント×2円＝61,096円 ・消耗品等 130千円 ・燃料費 8千円 ・印刷製本費（ポイントカード等） 321千円 ○役務費（通信運搬費・新聞折込料） 73千円 ○使用料（有料道路通行料） 15千円										
主な財源	府補 未来づくり交付金（健康楽歩里 [♠] イト事業） 300千円									
評価・課題等	○参加者の事後アンケートからは「目標にした生活習慣が定着した」「体重を必ず測るようになり減量に成功した」などの感想あり、参加された方の生活習慣の改善や振り返りの一助となった。 ○市民にとって参加しやすく魅力ある事業にするために、関係部署との連携や事業の広がりを検討する必要がある。									
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業																	
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業					決算書	P.182														
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市			計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
1,104千円		1,162千円		58千円	95.0 %	1,162千円															
目的	地域の健康づくりリーダーとして健康づくり推進員を委嘱し、その研修と活動の支援を行うことで、市民主体の健康づくりを地域で推進する。																				
主要な 事業及び 成果の概要	健康づくり推進員を対象に、生活習慣病予防の進め方、正しいウォーキングの方法、ゲートキーパー研修を実施した。健康づくり推進員は、ジオ健康ウォーキングの運営協力、地区でのウォーキング教室等の実施、サザエさん体操の普及、検診受診の声掛けなどを行い、「歩いてすすめる健康づくり」を中心に活動し、市民に健康づくりを普及啓発した。																				
	○研修会の開催																				
	・全体研修会：平成26年4月14日				参加人数：124人																
	・第1回ブロック研修会：7月（4回）				参加人数：87人																
	・第2回ブロック研修会：平成27年3月（2回）				参加人数：75人																
主 な 財 源	○京丹後ジオ健康ウォーキング：平成26年10月19日				参加人数：138人																
	ウォーキングマップコースを基本に、6kmコースをウォーキング																				
	○地区健康教室：7回（健康運動指導士）				参加人数：161人																
	○サザエさん体操の普及：ステージ披露2回・ユーチューブ撮影				参加人数：249人																
	・全体・ブロック研修会講師謝金等				30千円																
	・健康づくり推進員活動謝礼品（3,000円×221人）				663千円																
	・健康運動指導士謝金				66千円																
	・需用費（用紙代・研修会代・ウォーキングイベント用品代など）				183千円																
	・役務費（研修会案内郵送代など）				162千円																
	○健康づくり推進員（平成27年3月31日現在）																				
評 価 ・ 課 題 等	<table><tr><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合計</td></tr><tr><td>46人</td><td>30人</td><td>39人</td><td>21人</td><td>14人</td><td>71人</td><td>221人</td></tr></table>							峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	46人	30人	39人	21人	14人	71人	221人
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計														
	46人	30人	39人	21人	14人	71人	221人														
任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日（2年間）																					
評 価 ・ 課 題 等	府補 健康増進事業費等補助金（2/3） 209千円																				
	府補 未来づくり交付金（健康づくり推進員活動事業） 300千円																				
	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 500千円																				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	04在宅健康管理システム事業	
細事業名	01 在宅健康管理システム事業				決算書 P.184
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,894千円		2,897千円		3千円	99.8 % 2,897千円
目的	市民が在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めるため、自動血圧計と専用の携帯端末機を貸出し、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。				
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	市民が在宅で、自動血圧計と携帯電話網に接続した専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバに送信する。送信されたデータを保健師等がモニタリングし、必要に応じて健康指導を実施した。				
	○費用弁償（地域協議会役員旅費） 1千円				
	○消耗品費（カラーコピー用紙、乾電池、血圧計カフなど） 119千円				
	○通信運搬費（結果レポート郵送通知） 79千円				
	○委託料（情報通信技術業務委託料） 2,592千円				
	○委託料（保守委託料） 16千円				
	○使用料（ソフトウェア使用料） 87千円				
	○利用状況（平成26年4月～平成27年3月累計）				
	利用者数 延べ 142人				
	年間平均稼働率 44.0%				
一人あたりの血圧データ送信回数／月 36.9回					
○指導状況					
電話での保健指導（対応） 延べ 151件					
メール指導 延べ 1,329件					
訪問・来所 延べ 146件					
主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）				1,400千円
評価・課題等	○利用者の平均血圧値の改善率は67.9%、生活習慣の改善に取り組んだ方が53%あり、健康管理意識の向上、血圧値の改善につながっている。 ○年間平均稼働率は年々減少傾向にある。その理由に、家庭用血圧計の普及（結果報告会での調査で8割近くが所持していた）が考えられる。モニタリングや健康指導を伴うことで、より効果的な健康管理への活用ができることから、本事業の成果をPRし、魅力ある事業として活用していただけるように今後も周知、勧奨等を継続していく必要がある。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健センター管理運営事業	
細事業名	01 保健センター管理運営事業				決算書 P.178
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,224千円		1,236千円	12千円	99.0 %	1,264千円
目的	保健事業の拠点となる保健センター（大宮、網野）の適切な維持管理及び運営を行い、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	乳幼児健診、予防接種、健康・介護予防教室事業等の保健事業が円滑に実施され、市民の保健福祉増進の拠点として機能した。				
	○大宮保健センター（利用状況：61件・2,293人）				33千円
	プロパンガスの燃料費				33千円
	○網野保健センター（利用状況：129件・3,551人）				785千円
	消耗品費				6千円
	プロパンガスの燃料費				40千円
	光熱水費（電気・水道）				595千円
	施設修繕料				5千円
	火災保険料				5千円
	廃家電処理手数料				17千円
	施設清掃等の委託料				117千円
	○丹後保健センター（利用状況：5件・51人）				
	※維持管理経費は丹後庁舎管理事業から支出				
	○弥栄保健福祉センター（利用状況：10件・127人）				388千円
	土地借上料（991.73㎡）ほか				388千円
○久美浜保健センター（利用状況：18件・274人）					
※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出					
○その他の保健センター施設費用				18千円	
ごみ処理手数料				18千円	
主な財源					
評価・課題等	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、保健福祉増進の拠点として貢献することができた。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	08保健事業費	02保健事業費	03特別総合保健施設事業費	国民健康保険事業特別会計	
事業名	01 施設管理費				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,563千円		3,165千円	602千円	80.9 %	3,165千円
目的	保健事業の拠点となる弥栄保健福祉保健センターの適切な維持管理及び運営を行い、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○弥栄保健福祉センター（利用者：10件、127人）				2,563千円
	需用費 1,116千円				
	消耗品費				8千円
	光熱水費（電気・水道代）				892千円
	修繕料（消防設備、誘導灯ほか）				216千円
	役務費 111千円				
	通信運搬費（電話代）				45千円
	廃家電処理手数料				38千円
	給水停止手数料				1千円
	粗大ごみ取引手数料				10千円
	火災保険料				17千円
	委託料 1,336千円				
	施設警備委託料				123千円
	施設清掃委託料				273千円
	設備管理委託料（ろ過装置、自家用電気工作物点検）				204千円
エレベーター保守点検委託料				642千円	
消防施設保守点検委託料				43千円	
自動ドア保守点検委託料				51千円	
主な財源					
評価・課題等	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、保健福祉増進の拠点として貢献することができた。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費	
細事業名	01 保健衛生総務一般経費			決算書	P.180
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,108千円		7,430千円	322千円	95.6 %	5,895千円
目的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金などの経費。				
主要な事務・事業及び成果の概要	産休代替保健師の任用、各種研修・研究会等への参加及び旧丹後保健センターの維持管理を実施した。 ○産休代替保健師の任用経費（保健師2人） 3,013千円 社会保険料 623千円 臨時保健師賃金 2,379千円 公務災害補償費 11千円 ○職員研修等経費 570千円 普通旅費（研修旅費） 458千円 消耗品費（事務用品・書籍等） 112千円 ○旧丹後保健センター維持管理経費 82千円 光熱水費 12千円 修繕料（センター入口天井修理等） 53千円 火災保険料・廃消火器処理手数料 8千円 消防設備等保守点検委託料 9千円 ○健康管理システム保守経費（負担金） 2,982千円 健康管理システム改修負担金 1,222千円 共同利用負担金（保守経費） 1,752千円 予防接種広域化システム改修負担金 8千円 ○その他の経費 461千円 栄養士会・保健師協議会等負担金 95千円 燃料費 7千円 修繕料（公用車修繕） 265千円 医薬材料費 11千円 保健福祉事業医療賠償保険料 83千円				
主な財源	国補 感染症予防事業費等補助金（1/2） 57千円 府補 地域医療再生事業費補助金（10/10） 822千円				
評価・課題等	○研修会等への参加により、専門職としての知識や経験の習得を促すことができた。 ○今後も法改正等による事業内容の増加や変更が想定されるため、継続して各種研修会等に参加し、保健指導の専門性を更に深める必要がある。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	01健康相談・指導事業	
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書	P.186
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,893千円		2,241千円	348千円	84.4 %	2,241千円
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	市民の健康増進や疾病予防を目的に、健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。健康相談では、個別に具体的な生活改善指導を実施した。健康教育は、生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。 【健康相談】 ○結果報告会（平成26年7月8日～10月24日 42日間） 延べ50会場 3,536人参加 ○栄養相談 232人実施 【集団健康教育】 ○健康づくり講演会 1回 275人参加 「関節の痛むわけを知り、治療や予防に役立てよう」 講師：西奈良中央病院顧問 奈良県立医科大学名誉教授 高倉義典氏 ○出前講座 96回 1,730人参加 ○事業費 1,893千円 賃金（臨時保健師・栄養士） 845千円 需用費（消耗品費・印刷製本費） 428千円 役務費（通信運搬費） 613千円 使用料（会場借上料） 7千円				
主な財源	府補 健康増進事業費等補助金（2/3）				447千円
評価・課題等	○結果報告会では、平成26年度から個別指導を中心とした方法に変更した結果、検診受診者のうち個別指導を受けた方の比率が、前年度より約20%増加し、62.8%となった。報告会を通じて、市民に健康情報を提供し、自分の健康について振り返り考えてもらう機会となっている。 ○講演会では、幅広い年代の方にとって身近な内容であり、地元出身の講師でもあったことから、多くの方に参加いただくことができ、健康づくりの知識の普及ができた。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	02総合検診事業																																																															
細事業名	01 総合検診事業				決算書	P.186																																																													
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																															
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																														
93,211千円		93,425千円	214千円	99.7 %	103,459千円																																																														
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防のための健康意識を高め、生活習慣の改善につなげる。																																																																		
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	健康診査と各種がん検診などと同時に受けることができる総合検診として、地域の公民館等で実施した。																																																																		
	○実施期間：平成26年5月20日～8月30日																																																																		
	○実施日数及び会場数：49日間・27会場(保健センター及び公民館等)																																																																		
	○検診業務委託料 89,931千円																																																																		
	委託先：京都予防医学センター・京都府医師会																																																																		
	<table><tr><td>検診内容</td><td>対象者</td><td>受診者数</td><td>受診率</td><td>前年度比較</td></tr><tr><td rowspan="3">健康診査</td><td>20～39歳</td><td>920人</td><td></td><td>△15人</td></tr><tr><td>75歳以上</td><td>1,597人</td><td></td><td>△152人</td></tr><tr><td>生活保護・その他</td><td>109人</td><td></td><td>26人</td></tr><tr><td>肺がん</td><td>40歳以上</td><td>7,946人</td><td>42.6%</td><td>△436人</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>40歳以上</td><td>4,371人</td><td>23.5%</td><td>△362人</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>40歳以上</td><td>7,688人</td><td>41.3%</td><td>△156人</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス</td><td>40歳以上</td><td>590人</td><td></td><td>△86人</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>55歳以上</td><td>2,247人</td><td></td><td>△88人</td></tr><tr><td>腹部超音波</td><td>60・65・70歳</td><td>814人</td><td></td><td>△38人</td></tr><tr><td>子宮がん(集団)</td><td>20歳以上</td><td>2,850人</td><td rowspan="2">44.7%</td><td rowspan="2">△46人</td></tr><tr><td>子宮がん(個別)</td><td>クーポン対象者</td><td>82人</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>40歳以上</td><td>2,908人</td><td>48.2%</td><td>22人</td></tr></table>						検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較	健康診査	20～39歳	920人		△15人	75歳以上	1,597人		△152人	生活保護・その他	109人		26人	肺がん	40歳以上	7,946人	42.6%	△436人	胃がん	40歳以上	4,371人	23.5%	△362人	大腸がん	40歳以上	7,688人	41.3%	△156人	肝炎ウイルス	40歳以上	590人		△86人	前立腺がん	55歳以上	2,247人		△88人	腹部超音波	60・65・70歳	814人		△38人	子宮がん(集団)	20歳以上	2,850人	44.7%	△46人	子宮がん(個別)	クーポン対象者	82人	乳がん	40歳以上	2,908人	48.2%	22人
	検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較																																																														
	健康診査	20～39歳	920人		△15人																																																														
		75歳以上	1,597人		△152人																																																														
		生活保護・その他	109人		26人																																																														
	肺がん	40歳以上	7,946人	42.6%	△436人																																																														
	胃がん	40歳以上	4,371人	23.5%	△362人																																																														
	大腸がん	40歳以上	7,688人	41.3%	△156人																																																														
	肝炎ウイルス	40歳以上	590人		△86人																																																														
	前立腺がん	55歳以上	2,247人		△88人																																																														
腹部超音波	60・65・70歳	814人		△38人																																																															
子宮がん(集団)	20歳以上	2,850人	44.7%	△46人																																																															
子宮がん(個別)	クーポン対象者	82人																																																																	
乳がん	40歳以上	2,908人	48.2%	22人																																																															
○需用費(印刷製本、消耗品等) 816千円																																																																			
○役務費(通信運搬費) 2,427千円																																																																			
○会場使用料 37千円																																																																			
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）				2,932千円																																																													
	府補	健康増進事業費等補助金（基本額2/3）				740千円																																																													
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）				3,357千円																																																													
評価・課題等	前年度と比較し、乳がん検診のみ受診者数が増加し、その他の検診については減少している。職場の検診や病院で検査等を受けている状況などを把握するとともに、未受診者への受診勧奨が必要である。																																																																		
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課																																																																	

予算科目	O4衛生費	O1保健衛生費	O4老人保健費	O3機能訓練事業				
細事業名	01 機能訓練事業				決算書	P.186		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進			
決算額		①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
63千円			87千円		24千円		72.4 %	
87千円								
目的	疾病、外傷、老化等により心身機能が低下している方に対し、心身機能の維持回復に必要な訓練等を行うことで、閉じこもりを予防するとともに日常生活の自立を助ける。							
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	・あじさいの会 リウマチ疾患のある方を対象に、疾病の自己管理や生活機能低下予防のための知識普及を目的とする。 実施回数：6回、参加実人数：18人、参加延人数：46人 ※対象者のうち、65歳未満の経費は一般会計で執行し、65歳以上分は介護保険特別会計で執行							
	○事業費 63千円							
	賃金（介助員・臨時看護師） 13千円							
	報償費（歯科衛生士、運動講師、作業療法士等） 4千円							
	需用費（消耗品費、燃料費、修繕費） 32千円							
	役務費（通信運搬費、リフト車登録手数料、保険料等） 12千円							
	委託費（送迎委託料） 2千円							
主な財源								
評価・課題等	○事業は社会参加や交流の場となっており、参加者のほとんどが心身機能の現状維持を図ることができた。							
	○対象者の固定などの課題があるため、運営方法について検討の必要がある。							
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課						

事業名称		再編交付金活用事業																					
個別事業名		決算額																					
18 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業		16,381千円																					
決算額の内訳	11 需用費	消耗品費	29千円																				
	11 需用費	印刷製本費	33千円																				
	12 役務費	通信運搬費	276千円																				
	12 役務費	審査支払手数料	1千円																				
	13 委託料	高齢者肺炎球菌ワクチン接種委託料	15,958千円																				
	20 扶助費	予防接種費用給付費	84千円																				
主要な事務・事業及び成果の概要	高齢者肺炎球菌ワクチン接種																						
	対象者：65、70、75、80、85、90、95歳及び100歳以上の方 60～64歳の障害を有する方																						
	接種費用：8,009円																						
	自己負担：2,000円（生活保護世帯の方は無料）																						
	※ 後期高齢者医療被保険者の方は、京都府後期高齢者医療広域連合の負担軽減助成制度の活用等により、実質的な自己負担は無し																						
	○予防接種委託料		15,958千円																				
	<table><tr><td></td><td>対象者数</td><td>接種者数</td><td>接種率</td></tr><tr><td>75歳未満</td><td>1,943人</td><td>1,172人</td><td>60.3%</td></tr><tr><td>75歳以上</td><td>2,433人</td><td>1,100人</td><td>45.2%</td></tr><tr><td>生活保護世帯</td><td>47人</td><td>11人</td><td>23.4%</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,423人</td><td>2,283人</td><td>51.6%</td></tr></table>				対象者数	接種者数	接種率	75歳未満	1,943人	1,172人	60.3%	75歳以上	2,433人	1,100人	45.2%	生活保護世帯	47人	11人	23.4%	合計	4,423人	2,283人	51.6%
		対象者数	接種者数	接種率																			
	75歳未満	1,943人	1,172人	60.3%																			
	75歳以上	2,433人	1,100人	45.2%																			
生活保護世帯	47人	11人	23.4%																				
合計	4,423人	2,283人	51.6%																				
※75歳未満には、60～64歳未満の障害を有する方を含む。																							
○その他の経費		423千円																					
・需用費（各種消耗品）		29千円																					
・需用費（予診票等印刷代）		33千円																					
・役務費（個別通知等郵送代）		276千円																					
・役務費（審査支払手数料）		1千円																					
・扶助費（委託外医療機関での接種者への給付費）		84千円																					
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課																					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業	
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書 P.178	
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額	
2,224千円		2,401千円	177千円	92.6 % 3,034千円	
目的	かけがえのない生命が自らの手で絶たれているという痛ましい現実の中、自殺者をなくすために市民、行政、関係機関及び団体等が一体となって自殺予防対策を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成26年3月に策定した「自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、地域の実情に応じた自殺対策を推進した。 「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携・協働し、悩みを抱える人への「気づき」を大切に、人材の養成に重点を置いた事業（こころ・いのち・つながり手研修）を展開するとともに、臨床心理士によるこころの健康相談、こころの健康づくり講演会（こころの健康相談会を同日開催）、フリーアクセスによる無料電話相談を引き続き実施した。さらに市民への啓発活動として、4回の街頭啓発を実施し、概ね1,250人に啓発物品を配布した。				
	○フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話）			100千円	
	○フリーアクセス通話料 600件			448千円	
	○こころ・いのち・つながり手研修会			100千円	
	初級講座2回・中級講座2回（参加者：延べ198人）				
	○こころの健康相談（毎月1回）			411千円	
	臨床心理士による相談日開設（相談者：延べ29人）				
	○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会			41千円	
	平成26年12月6日（土）参加者：100人・「健康相談会」参加者：3人 演題「元気なこころの育て方～いきいきと生活するための認知行動療法～」				
	○自殺予防街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）				
主な財源	日 程	会 場	啓発物品配布数		
	6月17日	マイン（峰山）	400セット		
	9月10日	にしがき（大宮バイパス店・弥栄店）	300セット		
	12月12日	フレッシュバザール（峰山店）・Aコープ（久美浜店）	300セット		
	3月13日	Aコープ（網野店）・にしがき（間人店）	250セット		
	○研修関係旅費等			669千円	
	○その他共通経費（消耗品・印刷製本等）			455千円	
	府補	自殺対策事業補助金	1,607千円		
	評価・課題等	○各事業を通して、参加者がこころと体の健康増進を図ること、悩んだ時は支援を求め、悩み苦しんでいる人に気づき・相談窓口につなぎ・見守ることの重要性について、理解を深めてもらうことができた。			
		○総合的な自殺予防対策を推進するため、自殺未遂者の支援の強化、自死遺族者支援について、地域の実情に応じたきめ細やかな施策を展開する必要がある。			
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			